

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス PLUS ONE		
○保護者評価実施期間	2026年2月15日 ～ 2026年3月3日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2026年2月15日 ～ 2026年2月28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学校生活での困りごと解決のために学習の躓きの再学習を個別に支援し、わかる！できた！の自信をつける。学校に行く楽しみを見つけだすことを支援する。	各自が移動可能な机や自分専用のPCなど、自分のペースで活動ができるように配慮。 「困っていること」「わからないこと」「できないこと」を相談できる対人関係を一緒に作る。 広くて、静かな環境。	「のめりこみやすさ」「スマホ依存症」などのSOS発信時の適切な対応についての学習会実施。
2	職業体験講師(声優、イラスト、ネイル、プログラミング、調理)による体験授業を定期的で開催し、得意を生かした就労のイメージを体験できるように、準備をしている。	興味、関心のある体験には自由に計画的に利用が可能で、発展的に技術が学べる。	更に興味のある職種などのアンケートを行い、多岐にわたる職種のプロ講師の方にも授業依頼。
3	それぞれが自分に合った将来の目標(高校進学、大学進学、就職)に向けてご家族と一緒に話し合いながら進路実現のお手伝いをさせていただいている。	志望校合格を目指しての計画的な学習支援を個別で行う。 就労移行支援授業所、就労支援事業所などと連携し、見学や説明会参加などを積極的に利用している。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学習支援においては、考査時期が重なると学習支援員はさらに必要なため、人材確保が悩ましい状況。	学習支援においては躓き部分はみんな違っているため、個別な支援が必要になってくる場合が多い。	送迎を必要とする利用者様をお断りしている状況です。職員募集は常に出してはいますが現在も十分ではありません。
2	父母の会の活動や、保護者同士の交流はない。	最終目標は各自進路の自己実現を設定しているために、どちらかというと保護者同士の交流を求める場面があまりない。	アンケート調査などで開催の希望を調査していますが、希望が少ないのが現状です。
3			